

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	5636	
平成18年度部名	保健所	課名	保健予防課	課長名	原 修	
平成19年度部名	保健所	課名	保健予防課	課長名	江森 静子	
事務事業名	精神障害者社会参加促進事業					
予算上の事務事業名	精神障害者社会参加促進事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	12220	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます					
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進					
施策名	第2施策 保健サービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市地域精神保健福祉連絡協議会設置要綱					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	さがみはら健康プラン2 1			個人、家庭、地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを推進するための施策等について計画するもの。		
計画年次	14	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会			5 事業開始年度	平成12年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
地域で生活する精神障害者の自立と社会参加の促進を図るための交流会や地域特性に応じた精神保健福祉対策を推進するための連絡会を行う。				精神障害者 関係機関		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・あじさい交流会(精神障害者が参加するソフトバレーボール大会)を、精神障害者地域活動センター「カミング」に委託し、開催 ・地域精神保健福祉連絡協議会の開催 						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	「保健所及び市町村における精神保健福祉業務運営要領」(平成12年厚生省大臣官房傷害保険福祉部長通知)に定められた業務であり、各保健所において実施されている。					
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	215	164	180	238	238	
一般財源	215	164	180	238	238	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	7,416	7,398	7,398	7,398	7,398	
事業コスト合計	7,631	7,562	7,578	7,636	7,636	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	・あじさい交流会			対象名称 と単位	参加者1人あたり経費	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	110	98	105	105	105	
対 象 数	260	273	237	300	300	
単位あたり経費(円)	423	359	443	350	350	
前 年 度 比		0.85	1.23	0.79	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	あじさい交流会参加率	指標式と指標の説明	参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	260.0	273.0	237.0		
目標	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0
目標達成度（%）	86.7	91.0	79.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	あじさい交流会参加率	指標式と指標の説明	参加者 / 参加見込み数 * 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	86.7	91.0	79.0		
目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
目標達成度（%）	96.3	101.1	87.8		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		実施している内容は「あじさい交流会」と「連絡協議会」の2事業で、それぞれ必要とされる事業であるが、事務事業上の位置づけや内容の見直しを図りたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
「あじさい交流会」については、津久井地域在住者の参加方法及びスポーツ以外の文化活動の実施を検討する。 「連絡協議会」については、幅広い関係機関の連携のもとで精神保健福祉の全般にわたる取り組みのなかで実施することが望ましいことから、「精神保健普及事			市域が拡大したことにともない、遠方から参加することが困難となってきていることを考慮し、開催場所や方法について検討することが必要となっている。		
bn					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			